

5.16

■司会 倉本 一弘〈鳥取県〉 鳥取県教育委員会生涯学習課社会教育主事
田中貴美子〈福岡県〉 異業種女性交流グループ「めだかの会」会長

1. 青少年の社会性を育む小・中・高校生のボランティア講座の試み 9:00～9:25

加藤 貴司〈熊本県〉 熊本市教育委員会社会教育課社会教育主事

ボランティア体験を通して社会性豊かな青少年を育成し、思いやりのあるまちづくりを推進しようと、平成9年度に3つの公民館で実施、10年度は14館で開催、11年度より全16館で計画している。地域活動への参加や福祉施設でのボランティア体験を通じて、学校を越えた仲間づくりができ、自分の住んでいる地域に関心を持つようになった。

2. 環境破壊は健康破壊 9:25～9:50

－中学生を主体とした全村的取り組みの成果と課題－

藤井 雅也〈島根県〉 弥栄村教育委員会社会教育主事・弥栄エコクラブ事務局長

平成4年度に弥栄中学校の養護教員が「環境破壊は健康破壊」と提唱以来、中学校生徒会・自治会・PTA・小学校児童会・婦人会・校長会・行政関係・教育委員会が協力して、自主的・継続的に環境について学び、環境保全活動を行っている。環境カレンダー作成、環境カルテによる診断、調査、再生紙の作成等にも取り組んでいる。

～ ティータイム ～

9:50～10:25

3. 荒れる中学校に取り組む 10:25～10:50

－親・教師の自助グループの実践と成果－

後田 逸馬〈鹿児島県〉 志学館大学図書課長・かごしま生涯学習を語る会事務局代表

平成9年1月、荒れる中学校の鎮静化に成功した事例を学習の課題として取り上げた。中学校の教師と親が中心となって、学校の父親セミナーや親の会、職員会議で学習を進めた。教師と親をあきらめと絶望から立ち直らせるセルフ・ヘルプの学習の中から、鎮静化の成功の理由を明らかにしていった。学習の成果と課題を発表する。

4. 古い町並みの活性化を図る住民主体のまちづくり 10:50～11:15

川島 啓嗣〈福岡県〉 八女市「八女・本町筋を愛する会」会長

平成4年に月一回の勉強会を10名前後で開始、翌年「八女本町筋を愛する会」を設立、婦人会、老人クラブ、中高生ボランティア等とともに町おこしのための諸事業に取り組む。花にあふれた町、祭り、町並みを生かした職人技の実演、ハゼ紅葉の名所づくり等々、行政をも巻き込んだ取り組みの経過、方法と課題について発表する。

5. 総括討論 11:15～11:40